

田井臨海エリアのにぎわいづくりについて

議会全員協議会資料
令和4年2月22日
企画財政部

田井宮津ヨットハーバーを海の拠点とし、新たな運営者(株式会社にしがき)と周辺事業者や住民などが連携しながら宮津湾東側「田井臨海エリア」の新たなにぎわいを創出していくため、海を活用した地域の活性化に取り組んでいるところです。

そうした中、現在、整備中の田井宮津ヨットハーバーの状況及び令和4年度の田井臨海エリアのにぎわいづくりの取り組みについて御報告いたします。

■田井宮津ヨットハーバーの状況について

◆施設整備の概要(別添参照)

- 令和4年GWのグランドオープンを目指し施設整備中
- 新施設:グランピング施設6棟、日帰りバーベキュー施設(屋根付き)、棧橋(予定)
- 改修施設:駐車場拡張及び自動ゲート設置、その他老朽施設改修※
※その他老朽施設の改修は市負担(14百万円)を含む。

◆今後の運営について

- アクティビティの充実
レンタルボート、チャータークルージング・フィッシング、バナナボート、ウェイクボード、ビックフロートなど
- 海洋スポーツ人材の育成等
 - ・ヨット経験者雇用によるジュニア指導や体験の実施
 - ・ジュニアヨットクラブ、宮津天橋高等学校ヨット部の施設利用継続
- ジュニアスポーツ育成への支援(企業版ふるさと納税を活用 5,000千円)

■田井臨海エリアのにぎわいづくりの取り組みについて(令和4年度)

周辺事業者や住民など地域全体で連携する「田井臨海エリアのにぎわいづくり実行委員会」を令和3年11月30日に立ち上げ、令和4年度事業の方向性を確認し、田井宮津ヨットハーバーのグランドオープン(GW予定)にあわせたにぎわいづくりイベントなどに取り組んでいきます。

◆田井臨海エリアのにぎわいづくり実行委員会参画団体(16団体)

ホテル&リゾート京都宮津、青少年海洋センター、(株)にしがき、サラヤ(株)、田井自治会、宮津市ヨット協会、丹後海陸交通(株)、(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社天橋立地域本部、関西電力(株)宮津エネルギー研究所、(一社)港まちづくり協議会大阪、宮津天橋高等学校、海洋高等学校、港湾局、水産事務所、丹後広域振興局、宮津市

◆令和4年度の事業予定

- 民間事業者等の連携による旅行商品等の造成
- にぎわいづくりイベントの実施
- 冬のにぎわいづくりに向けたコンテンツ(イルミネーション等)の検討
- エリアの情報を一つにまとめた情報発信の実施
- e-Bike等を活用した周遊の仕組みづくり